

ぬのめ 布目ダム 管理開始以来最大のダム流入量を記録

きづがわすいけいぬのめがわ みずしげんきこう ぬのめ
木津川水系布目川の水資源機構が管理する布目ダム流域では、台風18号に伴う総雨量が252mmに達し、ダムへの最大流入量は管理開始以来最大の毎秒約195立方メートルを記録しました。

この洪水に対して、防災操作^{*}を実施し、ダム下流の興ヶ原^{おくがはら}水位局観測所付近で、河川水位を約1.3m低減(推定)させることにより、下流河川沿岸の洪水被害軽減に務めました。

※『防災操作』とは、大雨などによりダムに流れ込む洪水の一部を貯水池に溜め込み、洪水を小さくして、ダム下流の河川に流すことを言います。

※今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値が変わることがあります。

平成25年9月18日

国土交通省 近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所
独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所

発表記者クラブ

県政・経済記者クラブ

奈良市市政クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所 副所長 佐々木 ^{ささき}

住 所：三重県名張市下比奈知2811-2

電 話：0595(64)8961(代表)

国土交通省 近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所 副所長 吉原 ^{よしはら}

住 所：大阪府枚方市山田池北町10番1号

電 話：072(856)3131(代表)

布目ダム 管理開始以来最大のダム流入量を記録

9月15日、午前0時頃より降り始めた台風18号に伴う降雨は、淀川水系布目川の布目ダム（奈良県奈良市）上流域で、9月16日4時から5時の1時間の雨量が最大33mm、総雨量は252mmに達し、ダムへの最大流入量は管理開始以来最大の毎秒約195立方メートルを記録しました

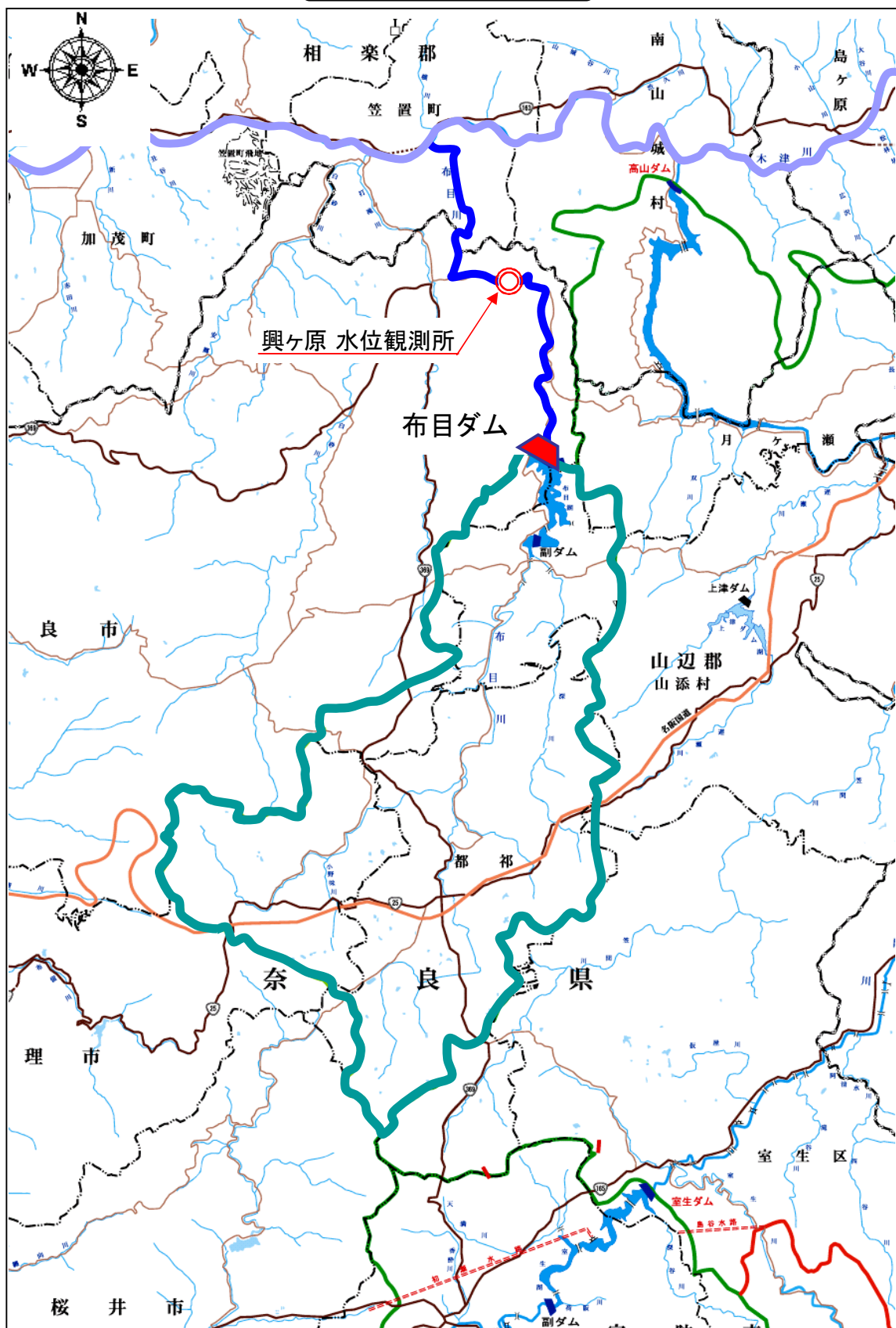
この洪水に対して、流入量が増加し、16日5時6分には洪水量（毎秒100立方メートル）に達したため、防災操作を開始しました。

この防災操作では下流河川の状況、木津川本川の状況、ダムの貯水容量等を考慮し、淀川ダム統合管理事務所と連携して、布目川沿岸の浸水被害軽減のための防災操作を行いました。

ダム下流の興ヶ原^{おくがはら}水位観測所では、布目ダムの防災操作によりダムが無い場合に比べて河川水位を1.3m低減したと推定され、下流の洪水被害軽減に努めました。

布目ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダム効果発現に努めて参ります。

布目ダム流域平面図

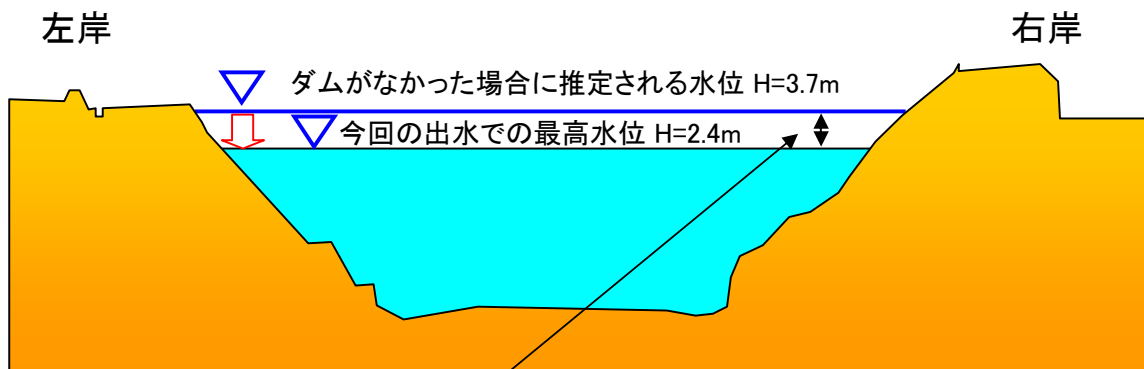


木津川 布目川 布目ダム流域

布目ダム下流河川の状況

平成25年9月16日(台風18号)

布目ダムの防災操作状況(興ヶ原地点)



ダムにより約1.3mの水位低減効果がありました。

※興ヶ原地点は、ダムから約6km地点

写真 ダム下流 3.7km地点



※平成25年9月16日 06時30分時点撮影



写真 ダム下流 1.7km地点



※平成25年9月16日 06時30分時点撮影



